

## 2006年8月 松坂屋月次営業報告

## 1. 店舗別売上高(対前年増減率)

	売上高(%)	構成比(%)	入店客数(%)	営業日数増減	
名古屋店	(1.2)	17.4	46.3	1.1	±0日
岡崎店		0.2	2.1	6.1	±0日
名古屋駅店		6.2	5.0	3.6	±0日
豊田店		5.5	3.8	4.0	±0日
高槻店		11.1	7.3	8.1	±0日
上野店		7.7	19.3	5.1	±0日
銀座店		5.1	5.6	0.0	±0日
静岡店		2.2	10.7	5.0	±0日
合計	(1.6)	9.8	100.0	1.1	

( )は前年万博会場内売店売上を除く対前年増減率

## 2. 商品別売上高(対前年増減率)

	売上高(%)	構成比(%)
紳士服・洋品	5.6	5.2
婦人服・洋品	2.7	26.0
子供服・洋品	1.7	1.9
その他衣料品	7.5	3.4
衣料品計	3.6	36.6
身の回り品	0.6	11.5
化粧品	5.9	3.6
美術・宝飾・貴金属	1.7	7.6
その他雑貨	7.5	7.4
雑貨計	3.2	18.6
家具	30.7	3.2
家電	7.6	0.8
その他家庭用品	106.7	4.8
家庭用品計	14.2	8.8
生鮮食品	121.0	3.5
菓子	0.4	7.5
惣菜	6.5	7.2
その他食料品	80.0	1.2
食料品計	10.8	19.3
食堂・喫茶	1.5	3.6
サピス	103.1	1.3
その他	96.4	0.4
合計	9.8	100.0

## 3. 商況概況

## &lt;主な店舗別売上高概況&gt;

- ・全店売上高は対前年 9.8%。  
前年の万博会場内売店売上を除く対前年では 1.6%。  
一部店舗での改装工事の影響に加え、残暑が厳しく、入店客数は 1.1%。
- ・前年実績を上回った店舗は、岡崎店、豊田店、高槻店、静岡店。  
静岡店は7ヶ月連続の前年プラス。名古屋店は前年万博会場内売店売上を除くベースでは前年 1.2%。
- ・名古屋店は前年万博会場売店売上を除くベースで8ヶ月ぶりのマイナス。化粧品や、高額品需要が続く美術・宝飾・貴金属、婦人靴が好調なその他雑貨など、雑貨部門が好調に推移。  
北館改装効果の高い食料品も前年をクリア。前年の改装効果の反動のある紳士服、残暑のため秋物衣料が不振だった婦人服など衣料品が落ち込んだ。
- ・上野店は改装工事の影響もあり入店客数も 5.1%と落ち込んだ。  
婦人服、紳士服フロアの改装が順次終了し新ショップもオープンした。
- ・静岡店は対前年+2.2%。7ヶ月連続前年クリア。  
駅前地下街の改修工事により入店客数は落ち込んだが各部門健闘し前年をクリア。

## &lt;主な商品別売上高概況&gt;

- ・カタログギフトの計上方法変更により、その他家庭用品と生鮮食品は大幅増。
- ・食品ギフト券の計上方法変更により、その他食料品は大幅減。

(注) 1、2表とも、構成比の合計は計算処理上必ずしも100%にはなりません。